

令和元年度 第1回 ヨコハマ国際まちづくり推進委員会 会議録

日 時	令和元年6月24日(月)10時00分～11時30分
開 催 場 所	国際局会議室
出 席 者	岡田委員、加藤委員、小池委員、小島委員、清水委員、滝田委員、中里委員、バートン委員
欠 席 者	梅村委員、金委員、陣委員、林田委員、細谷委員

議事1 外国人材の受入れ拡大について

【意見】

- ・市役所組織の体制強化と併せて、本委員会の体制強化についても検討すべきである。
- ・外国人受入については韓国などの海外事例から学ぶべき点も多くある。
- ・国際交流協会(YOKE)内に設置する総合的な情報提供・相談対応を行う拠点施設や国際交流ラウンジについて、しっかり周知を図ってほしい。外国人がラウンジで専門相談をする際に、そのような相談に対応できるYOKEの拠点施設にうまく繋がられるよう、YOKEとラウンジの連携が必要である。
- ・ラウンジでは日本語教室の問い合わせが増えているが、ラウンジ運営はボランティアの方々を支えられており、今後増加する外国人の対応が難しくなってくる。地域日本語教育の体制をしっかりと強化してほしい。
- ・外国人の生活の困りごとなどについては、スマホのアプリなどで、わかりやすく時代に合った形での情報発信が大切。周りの日本人にも届くと、外国人を手助けしやすくなる。
- ・拠点施設の情報もICTを活用した発信ができるとよい。人が集まる場所にはQRコードで情報提供表示するなど、情報を得やすくする工夫が必要。
- ・一次的な言語の翻訳はAI技術等により進歩しているので、それを踏まえた今後の施策展開が必要である。
- ・地域日本語教室など、国の制度が大きく変わる中、自治体が基本的な方針や方向性を整理していくと思うが、本委員会からの意見も反映していけるよう機会の確保に努めてもらいたい。

議事2 令和元年度多文化共生市民活動支援補助事業 審査結果について

- ・選考等に関して委員からのコメント。(※議題2については非公開)。

議事3 横浜市世界を目指す若者応援事業について

- ・選考方法について、部会により選考審査を行うとする事務局案を承認。
- ・選考等部会の部会員について決定(※当該部分の議論は非公開)。